

思い出に残る場所 大串文隆

テレビ番組で芸能人が無名時代に過ごした場所をめぐる番組をみるのがよくありますが、それぞれの個人にとってもそのような思い出に残る場所が必ず存在すると思います。私にとっての思い出に残る場所は高校時代に下宿生活をおくったところです。当時は全県下からどの高校にも進学できましたので、地方から市内の高校にくる学生も多くクラスの3割程度は下宿生であったように思います。徳島駅より少し南東に行ったところの眉山の中腹に忌部神社がありますが、私が下宿したのはこの忌部神社の神主さんのお宅で境内から少し下がったところにありました。忌部神社は阿波忌部の祖神天日鷲命を主祭神とすることで知られています。阿波の忌部神社の歴史は古代に遡るのですが、現在の地に神社が造られたのは明治時代のことのようにです。忌部の末裔でもある衆議院議員の後藤田正純さんと女優の水野真紀さんが忌部神社で結婚式をあげられ、徳島では人気のある結婚式場の一つで、二人の結婚記念樹もあるようです。数年前、姪が忌部神社で結婚式をあげ、久しぶりに訪問しました。だだっ広かった境内に多くの建物ができ雰囲気はだいぶ変わっていましたが、昔の面影は十分感じることができました。下宿へは神社の参道をつかい、途中から私道の山道を登ります。静かで夜は暗くて、怖いものですから最初のころは山道を下宿の明かりがみえるところまで息を切らせて駆け上がっていました。こんな下宿を何故選んだかといいますと、母親が説明会に参加した時体育館の壁に貼ってあった下宿案内の中で、神社の神主さんのお家なら下宿をさせて間違いなだらうということで決めたようです。思い出の場所は心に残る人との出会いの場所でもあります。下宿を介して様々な人と知り合い、今も親しくしている友人も多く会えばいつも下宿時代の話で盛り上がります。この時しばしば話題に上る2歳上の先輩のTさんがいます。一緒に生活したのは高校1年生のときのみでしたが、私にとっては最も印象に残っている人でもあります。大学時代に一度会ったきりで、その後は季節の挨拶程度の関係でしたが、私が最も影響を受けた人です。高知県の県境の近くの吉野川上流にある大歩危小歩危はよく知られていますが、その近くの出身で、私たちの高校にはTさんのお兄さん(Hさん)と二人しかきていないとのことでした。Hさんは乳腺外科で非常に有名な先生で、4級上でしたので知り合ったのは徳島大学に入学してからで、以来下宿が同じだったとのことで気をかけていただき、高知病院にAMULET(乳腺撮影装置)を導入した際、講演に高知まで来てくださいました。TさんとはHさんの講演をきっかけにメールによる連絡が可能となり今は時々近況を報告しています。Tさんは現在法曹界におられ非常に多忙なようですので、また、落ち着けば訪ねてみるつもりです。時間ができればこの思い出の場所を今度はゆっくり訪問したいと思っています。